

福祉医療制度について

(2012年愛知自治体キャラバンまとめ)

市町村名		「福祉医療制度(子ども・障害者・母子家庭等・高齢者医療)を縮小せず、 存続・拡充して下さい」
0	愛知県	<p>高齢化の進行、医療の高度化等に伴い、医療費のますますの増加が予測されます一方で、本県の県税収入は、平成20年秋以降の世界的な経済危機の影響で、急激かつ大幅な減収という事態になっております。今後においても、少子・高齢化が進み、働き手が少なくなっていくなかで、税収の増加を見込み難い状況にあります。</p> <p>こうしたことから、本県では、「行革大綱に係る重点改革プログラム」を策定し、厳しい財政状況を踏まえて、行財政改革を具体化、加速、拡大することとしております。</p> <p>その中で「福祉医療制度」につきましても、制度を持続可能なものとするための見直しを検討していくこととなりました。限られた財源のなかで、必要な福祉サービスが提供できるよう、制度を存続させていくためのものでありますので、ご理解いただきたいと思っております。</p>
1	名古屋市	<p>【健康福祉局】</p> <p>障害者医療費助成や福祉給付金などの医療費助成制度は、国の医療保険制度を活用した上で、県及び市が地方単独事業として厳しい財政状況の中、独自に財源を投入して実施しているものです。</p> <p>国の医療制度改革、県の福祉医療制度見直しの検討が進められておりますので、今後の動向を注視していきたいと考えております。</p> <p>【子ども青少年局】</p> <p>子ども医療費助成につきましては、子育て家庭の経済的負担の軽減および子どもの健康を守るため、順次対象年齢を拡大しており、現在、入院・通院ともに、中学3年生まで対象としておりますが、そのうち、乳幼児および小中学生の入院分につきましては、愛知県から補助金の交付を受けて事業を実施しております。</p> <p>また、ひとり親家庭等医療費助成につきましては、ひとり親家庭等の経済的負担の軽減及びひとり親家庭等の健康を守るため、18歳以下の児童を扶養しているひとり親家庭等を対象としており、こちらにつきましても愛知県から補助金の交付を受けて事業を実施しております。</p> <p>現在、愛知県におきまして、福祉医療制度の見直しを検討していることから、本市といたしましては、その動向を注視しながら、今後の助成制度について検討していきたいと考えているところです。</p>
2	豊橋市	<p>今後の県補助の動向も見据え、福祉施策として充実し、持続可能な制度とするよう努めていきたいと考えています。</p>
3	岡崎市	<p>福祉医療制度は現時点では改正する予定はありません。</p>
4	一宮市	<p>現在、県で検討が実施されています。今後の動向を見守りたいと思います。</p>
5	瀬戸市	<p>現状では、愛知県が行う福祉医療制度の見直しの動向を見極めた上で慎重に検討する必要があると考えます。</p>
6	半田市	<p>愛知県は、福祉医療制度の見直しについて検討を進めており、本市として今後も持続可能な制度運営に努めるために、存続・拡充につきましては、社会情勢の変化、施策の優先制、財源確保の面から総合的に判断してまいります。</p>
7	春日井市	<p>現在、県におきまして福祉医療制度の見直しが進められており、本年度中に見直し案が示される予定となっておりますので、今後の県の動向を注視していきます。</p>
8	豊川市	<p>本市では、福祉医療制度を縮小しないためにも、県市長会などを通じて、県へ福祉医療制度の存続・拡充を要望し続けています。</p>
9	津島市	<p>県の助成基準に準じて対応してまいります。</p>
10	碧南市	<p>現行制度の存続に努めます。</p>

市町村名		「福祉医療制度(子ども・障害者・母子家庭等・高齢者医療)を縮小せず、 存続・拡充して下さい」
11	刈谷市	愛知県内各市町村の福祉医療制度は、他府県に比較して充実しています。これは、愛知県からの手厚い補助制度に支えられてきたものです。 愛知県においては、「行革大綱に係る重点改革プログラム」の中で「福祉医療制度の見直し」が検討されており、「高齢化の進行、医療の高度化等に伴い、医療費の増加が予測されることから、限られた財源の中で、福祉医療制度を持続可能な制度とするため、福祉医療費の将来推計、一部負担金導入等の諸条件によるシミュレーションを行い、制度の見直しを検討する。」とし、「国の社会保障制度改革の内容とのすり合わせや、市町村、医師会等の関係機関との協議、調整を図りながら行っていく。」とされています。 今後も県や近隣市の動向を踏まえながら慎重に対応してまいりたいと考えます。
12	豊田市	※文書回答なし
13	安城市	県の福祉医療制度見直しの結果を見て検討します。
14	西尾市	現在、県の福祉医療制度の見直しの方向性が示されておらず、今後の県並びに市町村の動向を見据えて判断したい。
15	蒲郡市	子ども医療費助成、精神障害者医療費助成、後期高齢者福祉医療費助成については、県の補助部分を拡大して実施しています。なお、愛知県は福祉医療制度の見直しを予定しており、今後の県の見直しの状況や動向を注視しています。
16	犬山市	現在、県においては、平成26年度に向けた福祉医療制度の見直しが検討されています。当市としては、その動向に注視すると共に現制度が縮小されないことがないように要望していきます。
17	常滑市	平成24年10月から子ども医療の通院対象年齢を中学3年生までに拡大し、自己負担額の3分の2を助成しています。
18	江南市	県に意見、要望をしています。
19	小牧市	現時点で縮小の予定はありません。
20	稲沢市	福祉医療制度につきましては、県の重点改革プログラムに位置づけられ、平成26年度からの新制度開始に向けて見直し作業が始められたところです。どのような見直しが行われるのか、今後の県の動向を注視してまいりたいと考えております。
21	新城市	現在、縮小は考えておりません。
22	東海市	東海市は、県の助成制度以外、子ども医療の中学生通院など市独自の内容で医療費助成を実施しています。現時点では、助成内容の縮小は考えておりません。
23	大府市	子ども・障がい者・高齢者医療につきましては、県補助対象より拡充しており、今のところこれ以上の拡大予定はありません。
24	知多市	機会を捉えて要望してまいります。
25	知立市	縮小せず、存続予定ですが、拡充する予定はありません。
26	尾張旭市	尾張旭市の医療費助成制度は、全国的に見ても高い水準にある愛知県内にあっても、県内平均以上の内容を維持しています。今のところ、できる限り現状の制度を維持していきたいと考えています。
27	高浜市	現行において、子ども医療、高齢者医療について、県補助対象以上の拡大を市単独事業として実施しています。限られた財源の中で、現福祉医療制度を持続的に実施することが重要と考えており、さらに拡大する考えはありません。
28	岩倉市	県の補助制度を基本とし、市全体の施策の公平性、優先度等を考慮し、さらには他市町村の状況も踏まえて実施していきたいと考えております。
29	豊明市	福祉医療制度について縮小・拡大は考えておりません。
30	日進市	現在、本市で実施している福祉医療制度を、継続していくことを予定しています。
31	田原市	福祉医療制度は県の補助金を受け助成を行っています。このまま補助金が継続されるのであれば存続させたいと考えています。また、現在、補助対象事業より拡充し助成しており、これ以上の拡大は大きな負担となりますので考えておりません。
32	愛西市	方針等十二分にいろいろな状況を見ながら判断していきたいと考えております。
33	清須市	福祉医療については、子育て支援等施策として重要な施策と考えております。

市町村名		「福祉医療制度(子ども・障害者・母子家庭等・高齢者医療)を縮小せず、 存続・拡充して下さい」
34	北名古屋市	現在、県では、限られた財源の中で、福祉医療制度を持続可能な制度とするため、平成26年度に向けて制度の見直しを検討中です。今後、市町村との協議・調整が行われます。
35	弥富市	県は、平成26年度の新制度開始のために福祉医療制度の見直しの検討をしている。県の見直しの内容を踏まえて検討したい。
36	みよし市	※文書回答なし
37	あま市	県では、現在「福祉医療制度の見直し」をすすめています。どのような内容になるかが示されていない状況です。市としても、どのような方向に向かうか注視しているのが現状です。
38	長久手市	現行どおりとします。
39	東郷町	町において必要な福祉医療費助成を行います。
40	豊山町	当面は、現行制度を維持します。
41	大口町	福祉医療制度においては、子ども、高齢者、精神障害者の医療について県の補助範囲より拡充をしており、当面は現行制度を維持していく予定です。
42	扶桑町	存続又は拡充しています。
43	大治町	子ども医療については、平成24年4月に拡大を行ったが、その他については、現行の制度で行っていく考えです。
44	蟹江町	平成24年7月から中学校卒業年度末までの子ども、入院外、現物給付、所得制限なし
45	飛島村	福祉医療制度を縮小せず、今後も存続していく予定です。
46	阿久比町	現行制度の存続に努めます。
47	東浦町	東浦町の行っている福祉医療制度は、愛知県の補助金が財政面で大きなウェートを占めております。子ども医療のように町独自の上乗せ補助を行っているものもありますが、制度の維持を考えた場合、愛知県の施策の中での制度を考えざるを得ません。 現在愛知県では、福祉医療制度の見直しを検討していますが、県に対しては、機会をとらえて、補助制度の維持を求めていきたいと考えております。
48	南知多町	子ども医療は、平成24年10月診療分から18歳年度末まで対象年齢を拡大します。ただし、中学生と高校生等は、償還払い制度で、通院は自己負担分の2分の1助成、入院は自己負担分の助成で実施します。他の医療は現在の制度を存続させていきます。
49	美浜町	現在の制度を存続の予定しています。
50	武豊町	現行制度で実施してまいります。
51	幸田町	県において、福祉医療制度を維持可能な制度とするため、制度の見直しを検討しております。動向を把握し慎重に検討していきます。
52	設楽町	財政的な拡充は難しい面がありますが、継続します。
53	東栄町	現状での存続を考えている。
54	豊根村	現在、縮小の意向はありません。